

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	紙屋小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	13人		◎坂下 春則	司会進行
開催日	平成26年5月19日(水)		時任 隆一	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		首藤 美也子	活動報告(経済産業)
会場	紙屋出張所		福本 誠作	活動報告(市民厚生)
その他			原 勝信	記録・報告書作成
			蔵本 茂弘	

◎班代表者

意見交換会の内容		□市民の意見	■議員の意見
テーマ①	少子化対策		
【意見交換の概要】			
□ 若者が入れる住宅建設や医療費助成を充実させてほしい。 ■ 医療費助成は、未就学児については月 350 円の自己負担、入院については小学生を対象に月 1,000 円自己負担で残りを助成する取り組みを実施している事を報告しました。 これまでに一般質問でも行っており、今後も、一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。			
【行政の主な取組】			
医療費助成事業費 平成 26 年度当初予算：約 1 億 63 万円 ・乳幼児医療費助成 ・子ども医療費助成 ファミリーサポートセンター事業費 平成 26 年度当初予算：約 285 万円 児童福祉施設管理運営費（平成 26 年度当初予算：約 13 億 8,498 万円） ・一時預かり事業費補助 乳幼児医療費助成や子ども医療費助成など実施しています。また、ファミリーサポートセンターの運営や、放課後児童クラブ・放課後子ども教室などを通して子育て世代を応援しています。			
テーマ②	定住促進		
【意見交換の概要】			
□ 婚活事業や空き家対策の充実を図ってほしい。 □ 宅地分譲事業も進めてほしい。 ■ 今後も、一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。また、少子化対策にも関連しており、議会として政策討論会などで議会の意見をまとめ提案につなげたいと考えています。			
【行政の主な取組】			
未来を拓く定住戦略プロジェクト			

- ・定住促進企画事業費 平成 26 年度当初予算：約 139 万円
- ・移住等促進支援事業費 平成 26 年度当初予算：約 251 万円
- ・地域おこし協力隊事業費 平成 26 年度当初予算：2,711 万円
- ・地域ブランド化推進事業費 平成 26 年度当初予算：約 1,772 万円
- ・シティーセールス推進事業費 平成 26 年度当初予算：約 301 万円
- ・小林市の認知度UPプロジェクト事業費 平成 26 年度 6 月補正予算：750 万円

テーマ③	高齢者向け直売所の建設
------	-------------

【意見交換の概要】

- ☐ 農産物を集めて、直売所やスーパーへ持っていく仕組みづくりをしてほしい。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

自由意見の交換

- ☐ 猿の被害対策を図ってほしい。
- ☐ 内山地区は生活圏の関係で、野尻町区と合同で活動することがあるが、須木地区になるため、くくりの不都合が生じる場合があるので対策が必要である。
- ☐ 農家民泊の取組内容について教えてほしい。
- 自由意見については全議員で情報を共有し、今後、一般質問や委員会審査の中に活かしてまいります。

議会活動報告への意見 ※特になし